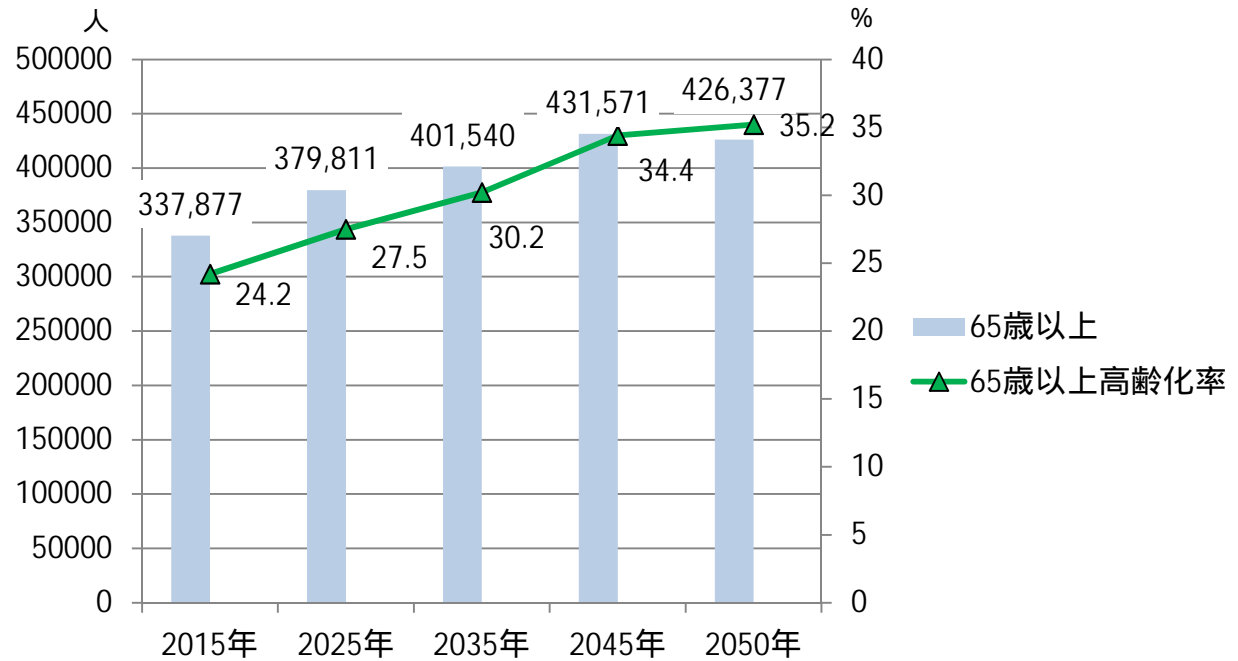


滋賀県の高齢者の 社会活動等の現状について

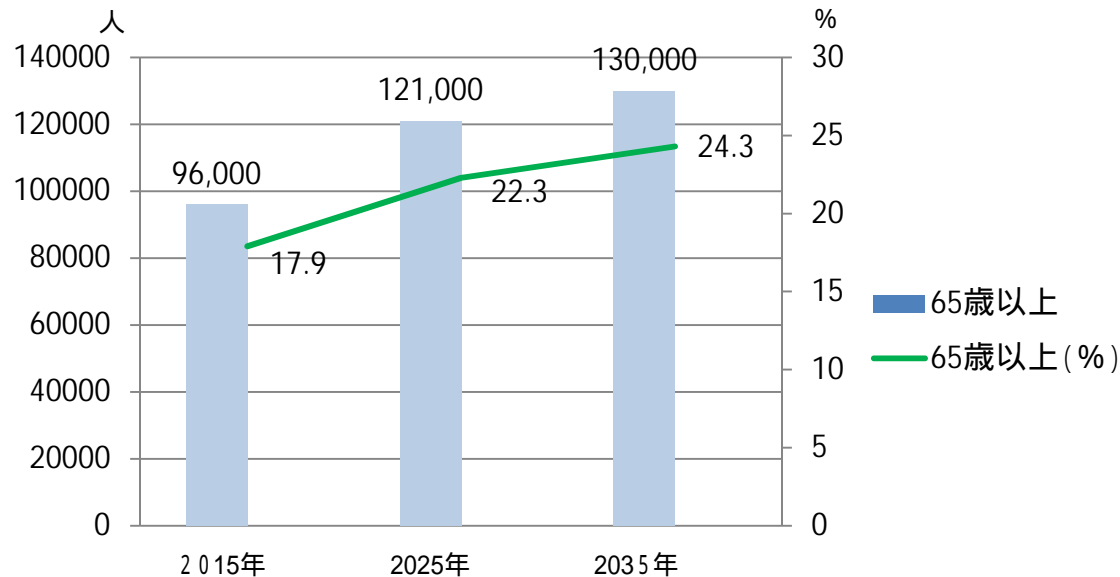
滋賀県の高齢化の現状 1

高齢者人口

県の高齢者人口は2045年にピークを迎え、2050年には、高齢化率は35.2%に達すると推計されている。



高齢者世帯(単身+夫婦)



高齢化にともない、高齢者のみの世帯も13万世帯、24.3%まで増加すると推計される。

滋賀県の高齢化の現状 2

平均寿命と健康寿命

滋賀県の平均寿命は男性が81.78年(全国1位)、女性が87.57年(全国4位)となっている。
他方、健康寿命の一指標である日常生活に制限のない期間の平均を見ると、男性が71.31年、女性が73.40年となっている。

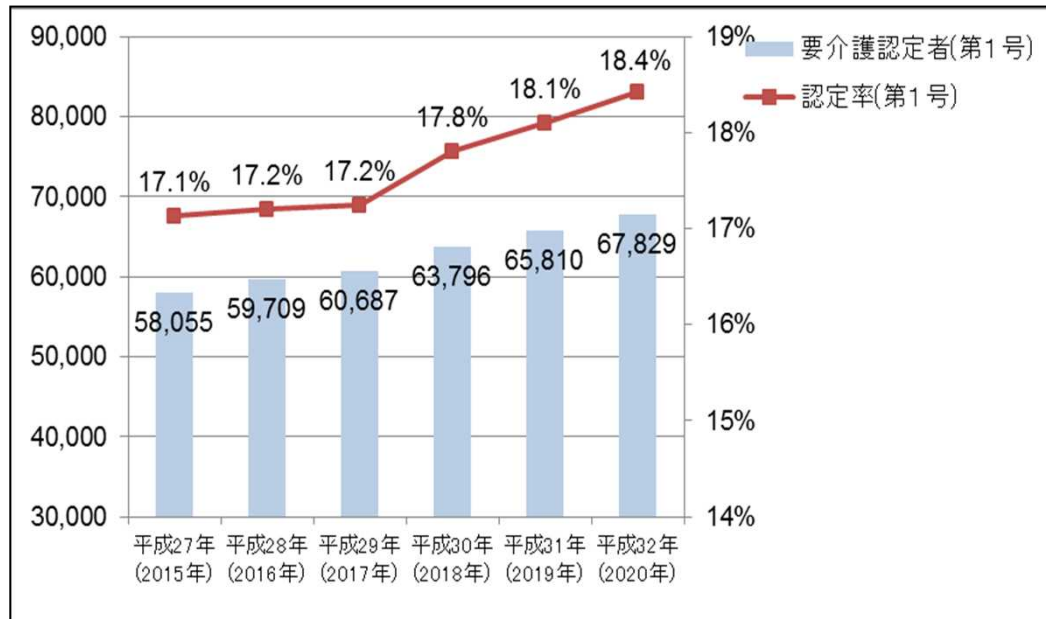
平均寿命 男性：81.78年 女性：87.57年

出典：厚生労働省「平成27年都道府県別生命表」

日常生活に制限のない年齢の平均 男性：71.31年(22位) 女性：73.40年(44位)
日常生活に制限のある期間の平均 男性：9.91年(45位) 女性：13.93年(46位)

出典：厚生労働科学研究「健康寿命の全国推移の算定・評価に関する研究(全国と都道府県の推移)(平成29年度分担研究報告書)」
2010・2013・2016年の3年次の平均の推定値

要介護等認定者数と認定率(第1号保険者)の推移



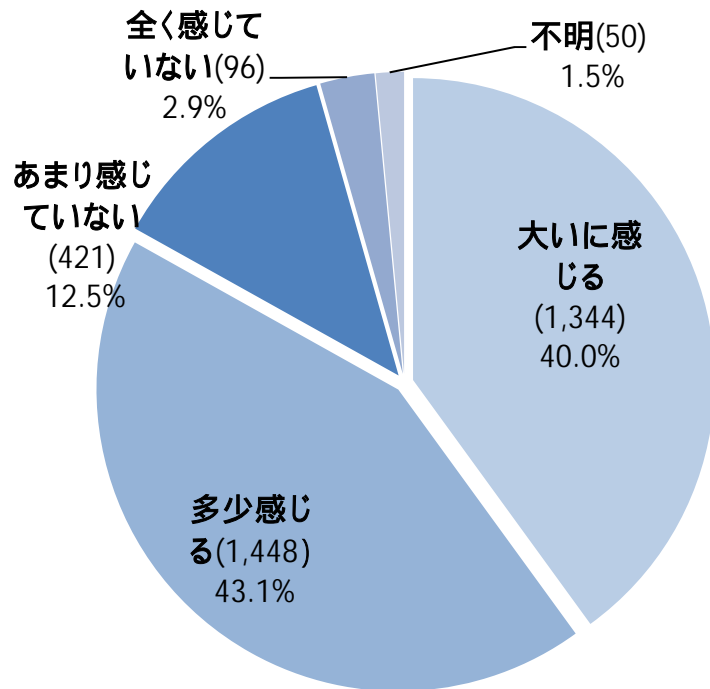
介護保険の要介護認定率は、
2020年には、18.4%まで上昇する
と見込まれている。

高齢期の生活についての不安

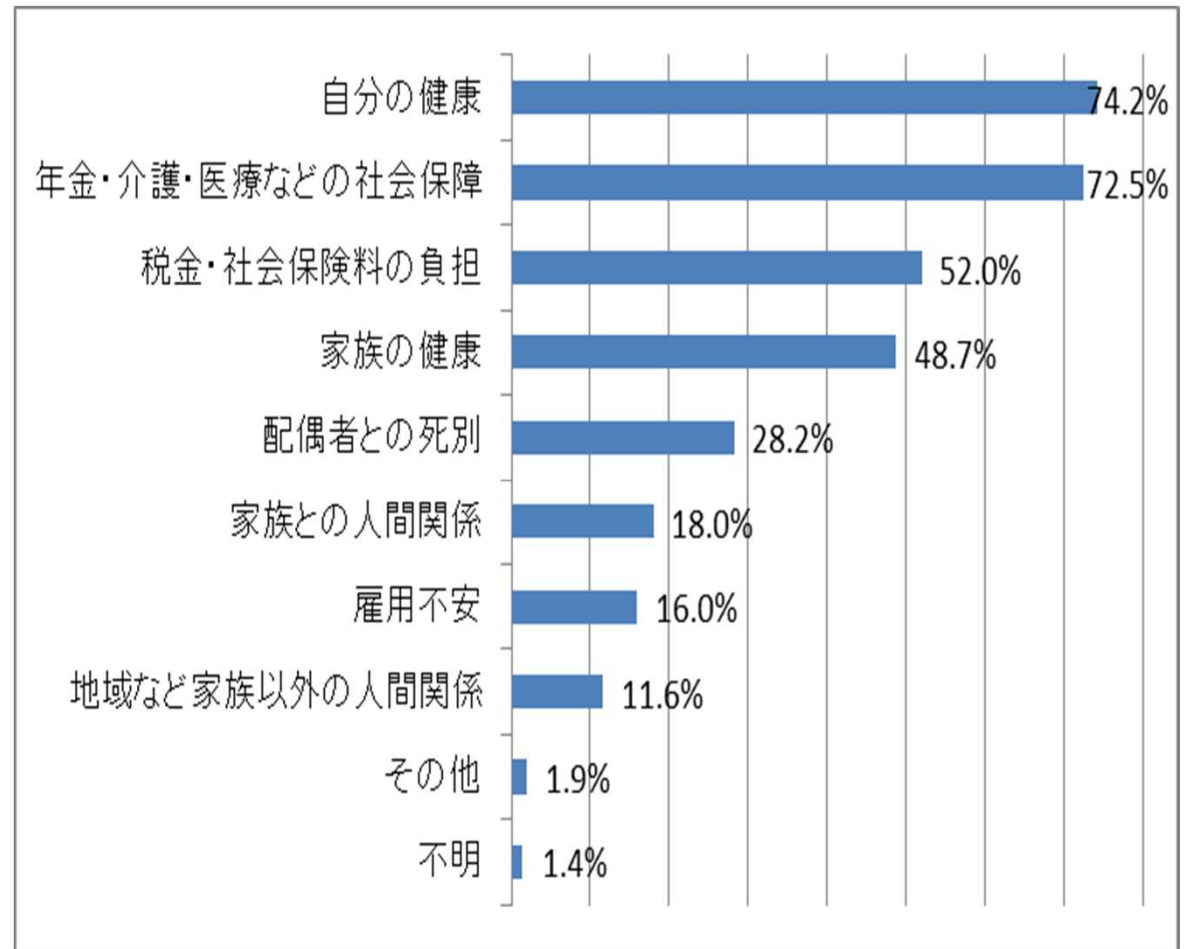
県内の20歳以上の男女を対象とした調査では、8割以上の人が高齢期の生活に不安を感じており、その内容としては、「自分の健康」「年金・介護・医療などの社会保障」「税金・社会保険料の負担」「家族の健康」など、健康面や経済的な面に不安を感じている人が多い。

高齢期の生活の不安

()内の数字は実数



高齢期の生活の不安の内容(複数回答)

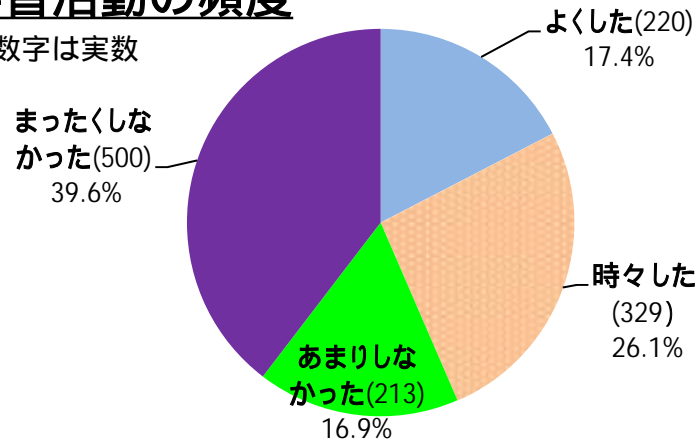


高齢者の学習活動

出典：シニアの社会参加(参加・参画を通じて社会の一翼を担うこと)に関する調査(H29) 県社協調査
 調査対象：草津市、米原市の65歳以上の市民2,500人。1,353人が回答。

生涯学習活動の頻度

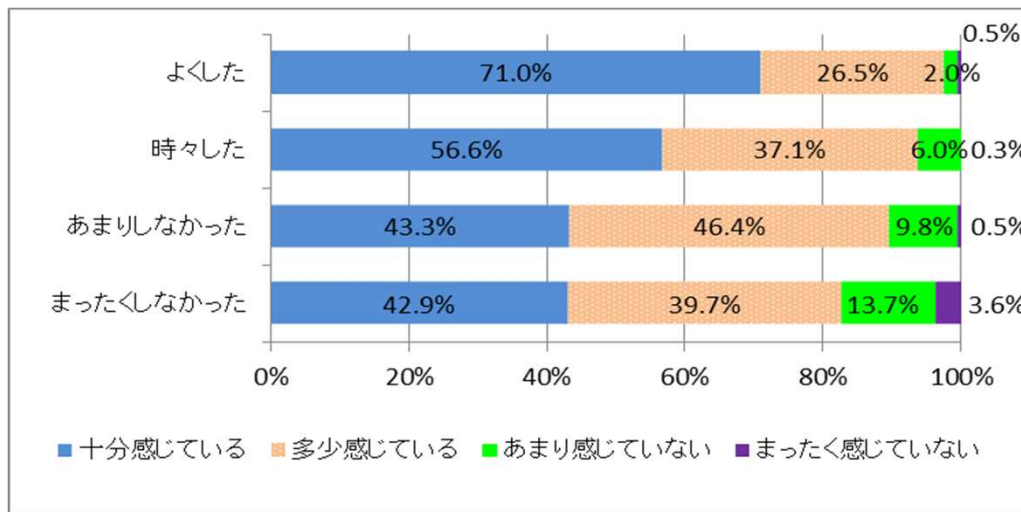
()内の数字は実数



この1年くらいの間での生涯学習を行った程度をみたもの(学校教育や公民館等における講座等の社会教育等に限らず、自分から進んで行う学習、スポーツ、文化活動、趣味等)

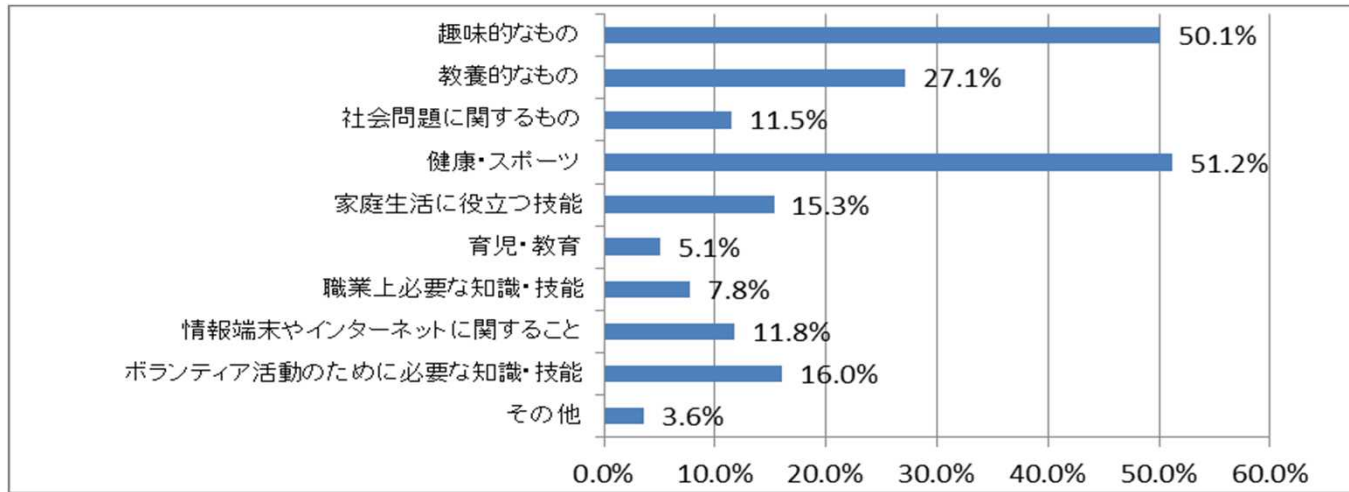
生涯学習を「よくした」と回答した人(17.4%)と「時々した」と回答した人(26.1%)を合わせると、4割以上の方が学習をしたと回答

生涯学習活動と生きがい感



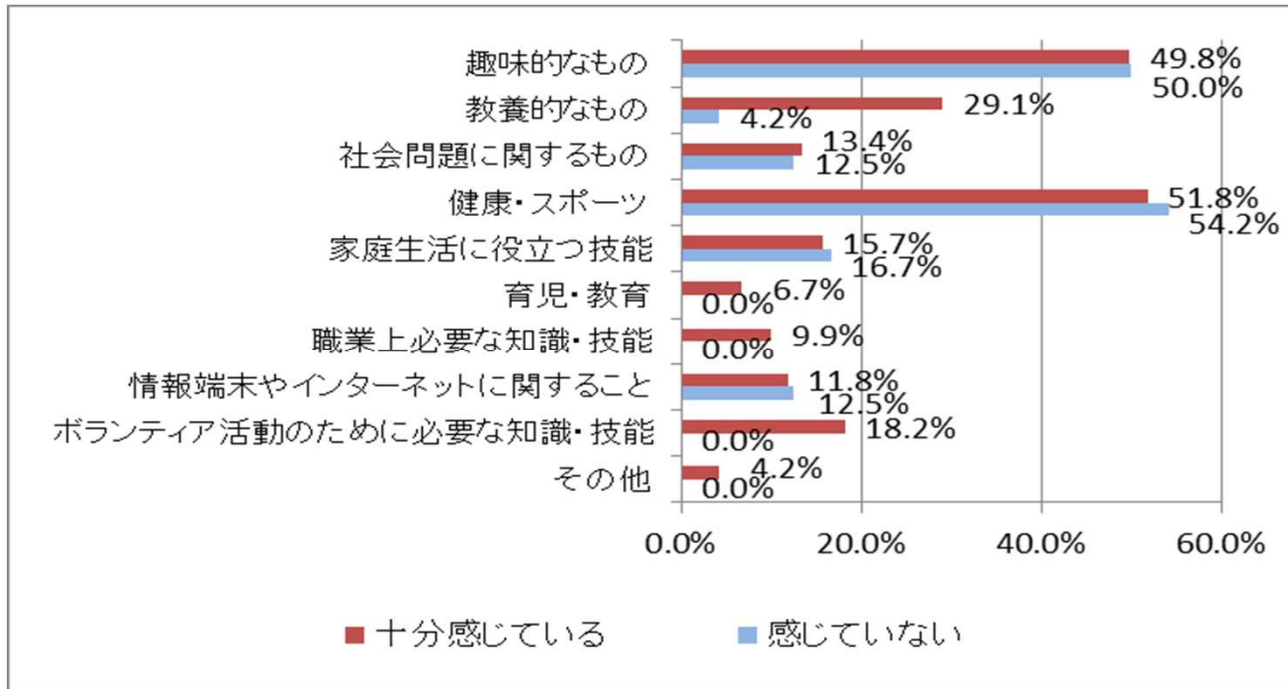
生涯学習の頻度が高い人ほど、生きがいを「十分感じている」と回答し、学習を「よくした」人では7割の人が生きがいを「十分感じている」と回答

生涯学習内容(複数回答)



出典:シニアの社会参加(参加・参画を通じて社会の一翼を担うこと)に関する調査(H29) 県社協調査

生涯学習内容と生きがい感

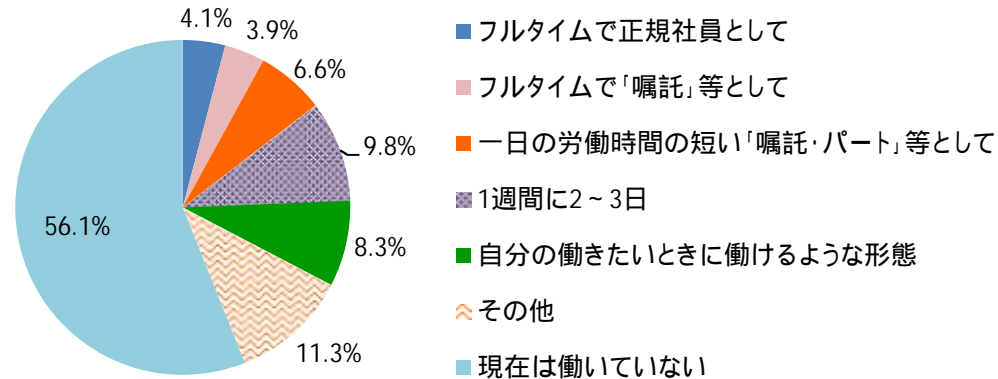


生きがいを「十分感じている」と「感じていない」人に分けて生涯学習内容を集計したところ、「教養的なもの」と「ボランティア活動のために必要な知識・技能」を学習した場合には、生きがいを「十分感じている」人の率が高い。

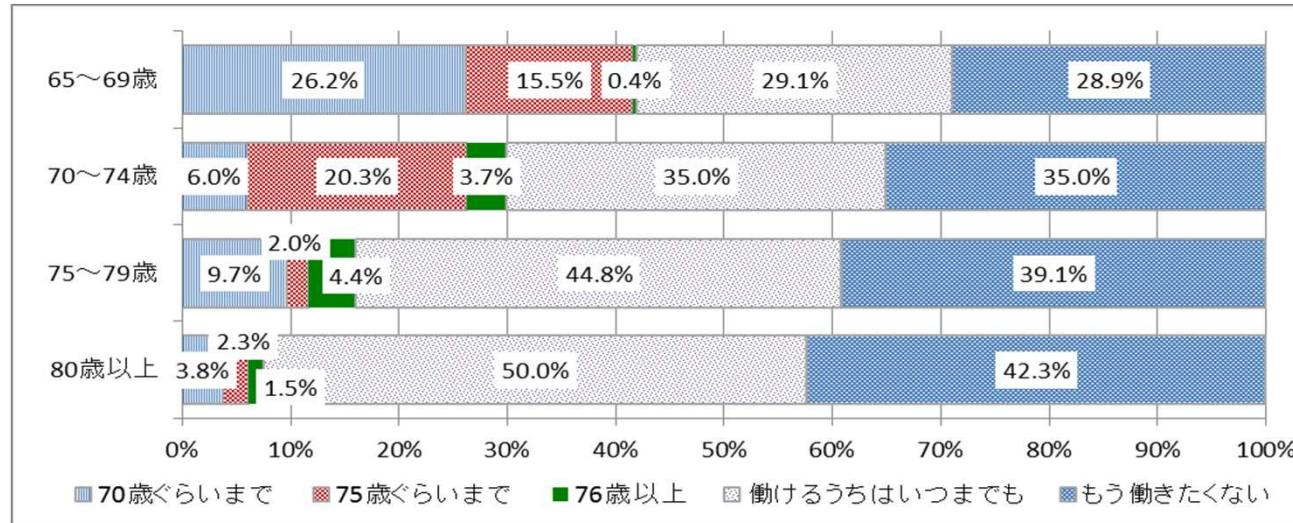
高齢者の就労

出典: シニアの社会参加(参加・参画を通じて社会の一翼を担うこと)に関する調査(H29) 県社協調査
 調査対象: 草津市、米原市の65歳以上の市民2,500人。1,353人が回答。

現在の就労経験

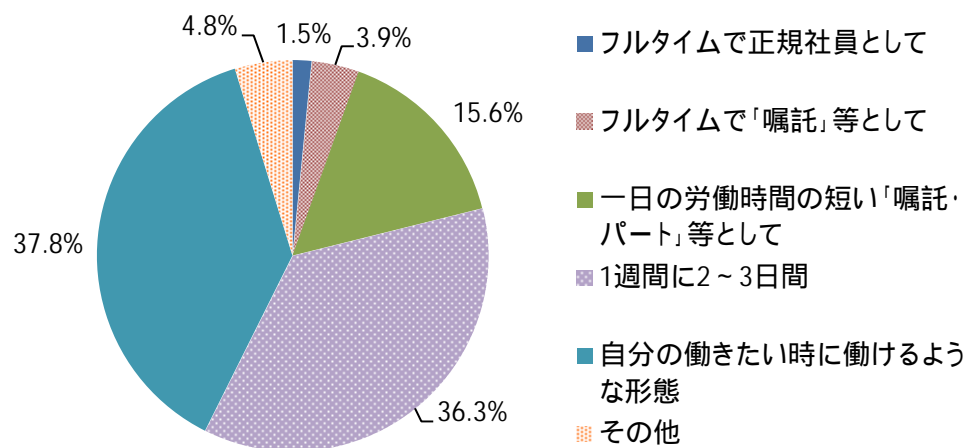


年代別にみた何歳ごろまで仕事をしたいか



年代が上がるにつれて「もう働きたくない」と回答した人の率が高くなるが、どの年代でも、6～7割以上が高齢期にも仕事をする意欲を持っている。

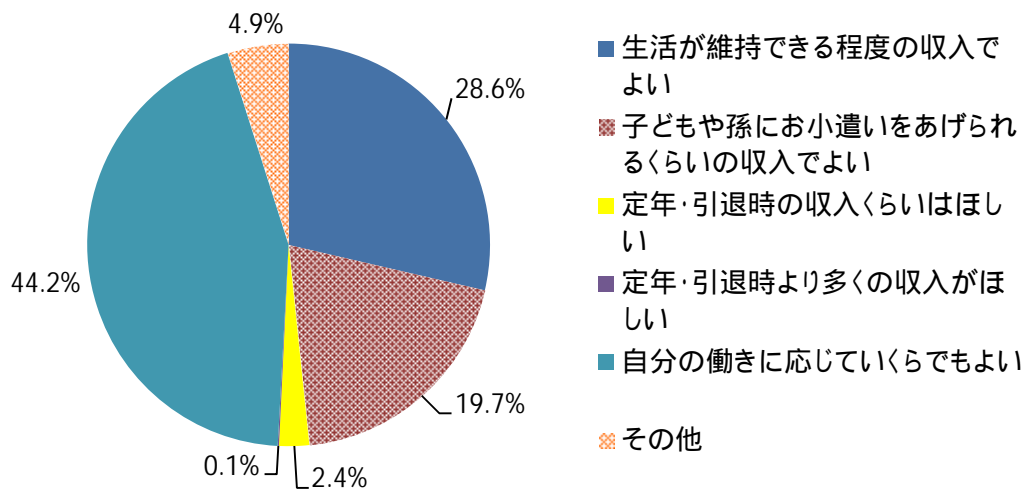
望ましい働き方



「自分の働きたい時に働けるような形態」(37.8%)がもっとも多く、次いで「1週間に2~3日間」(36.3%)となっていた。

フルタイムでの働き方を望んでいる人は4.4%と少なかった。

望ましい収入



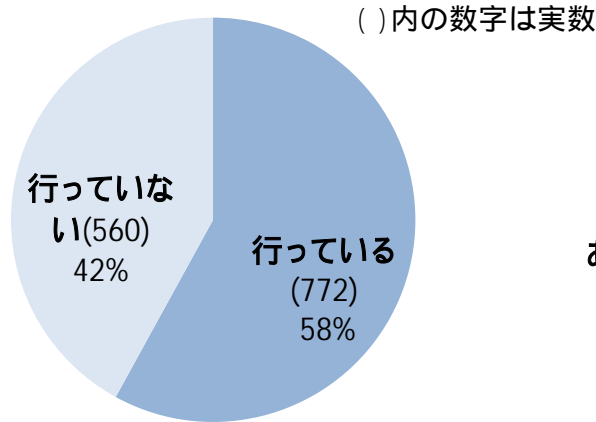
「自分の働きに応じていくらでもよい」(44.2%)がもっとも多い。

高齢者の社会参加について

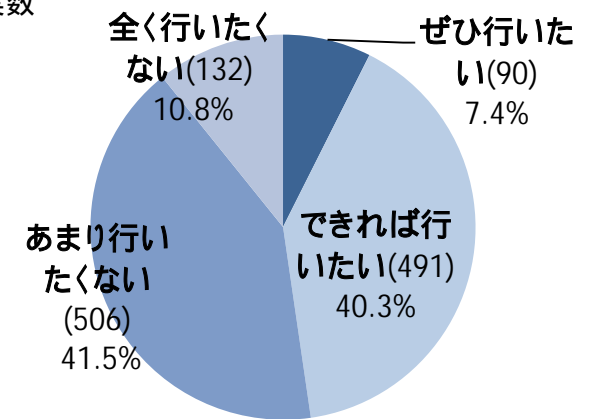
出典: シニアの社会参加(参加・参画を通じて社会の一翼を担うこと)に関する調査(H29) 県社協調査
 調査対象: 草津市、米原市の65歳以上の市民2,500人。1,353人が回答。

高齢者の約6割が社会参加活動を行っている。
 社会参加活動へのニーズをみると、約半数が参加したいと考えている。

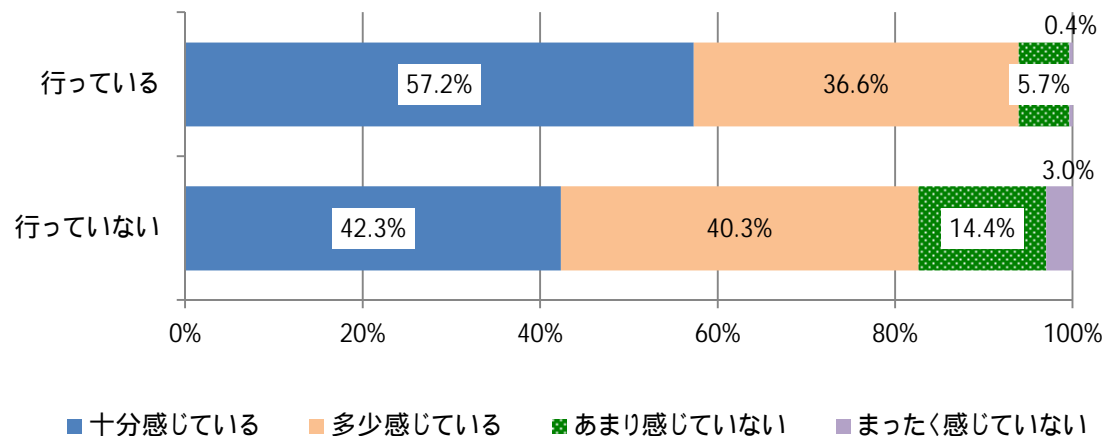
社会参加活動の実態



社会参加活動へのニーズ

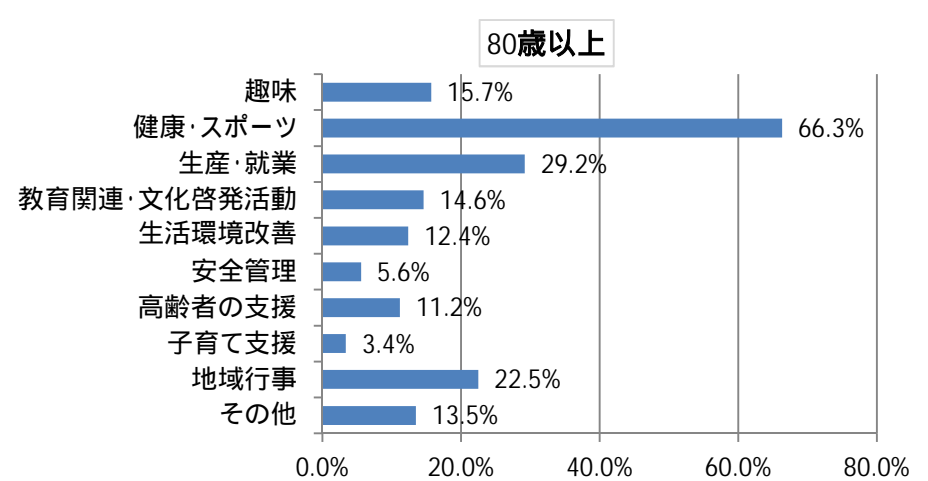
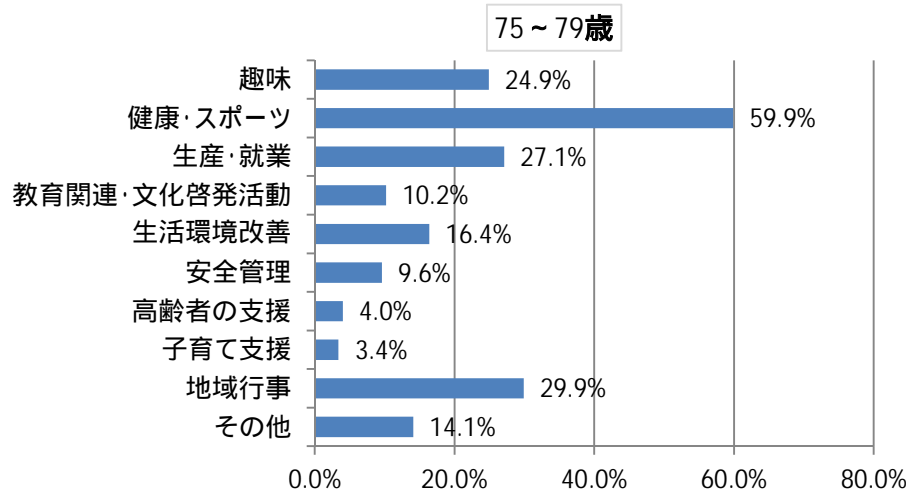
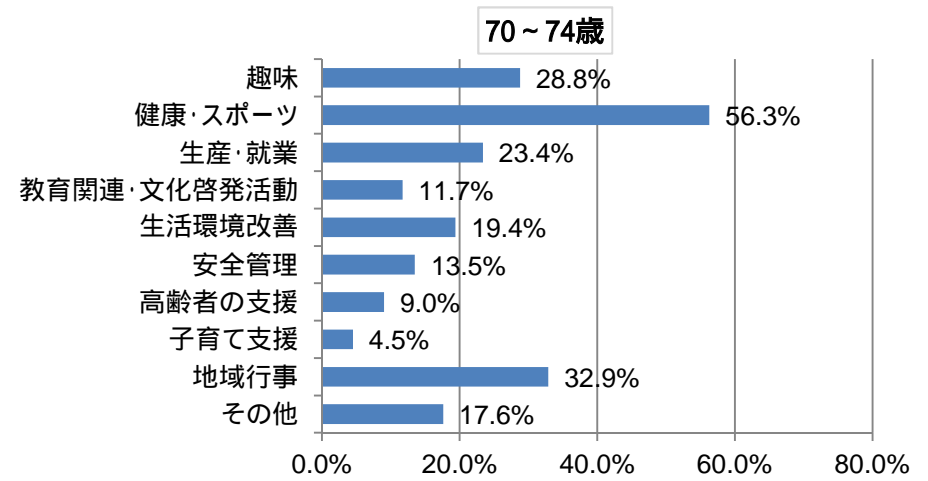
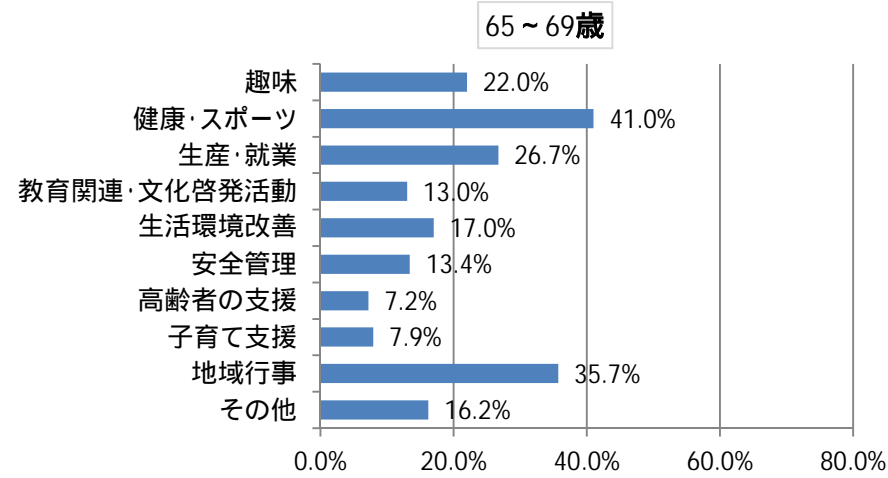


社会参加活動の有無と生きがい感



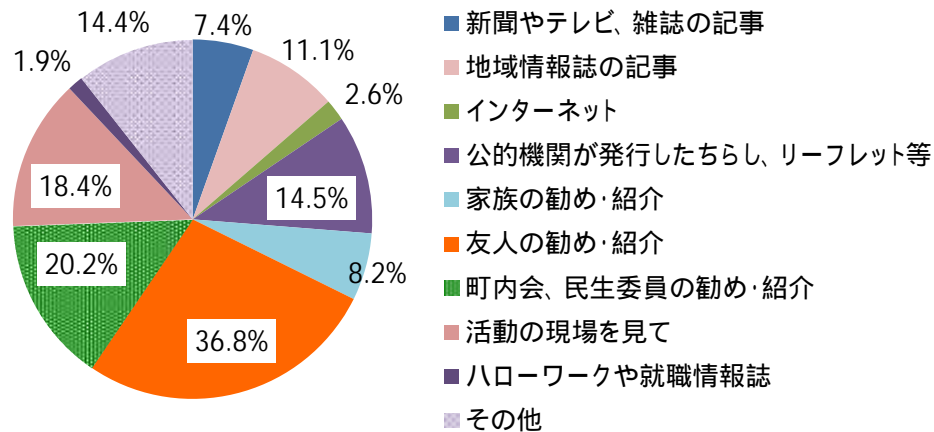
社会参加活動を「行っている」人では半数以上が生きがいを「十分感じている」と回答

社会参加活動の内容（複数回答）



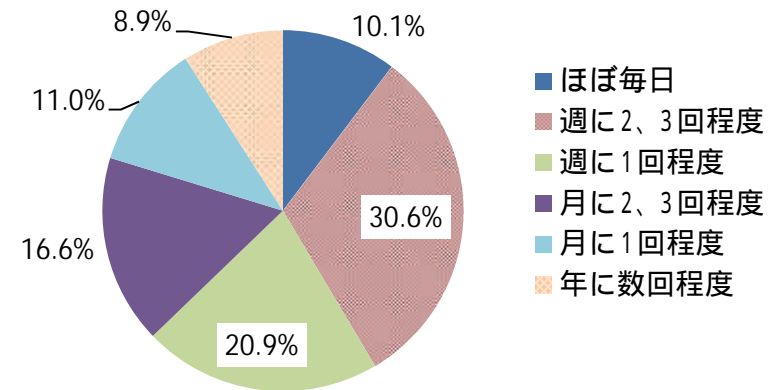
年代別にみると「健康・スポーツ」は年代が上がるにつれて回答率が高くなり、「地域行事」は年代が上がるにつれて回答率が低くなっている。

活動に参加したきっかけ（複数回答）

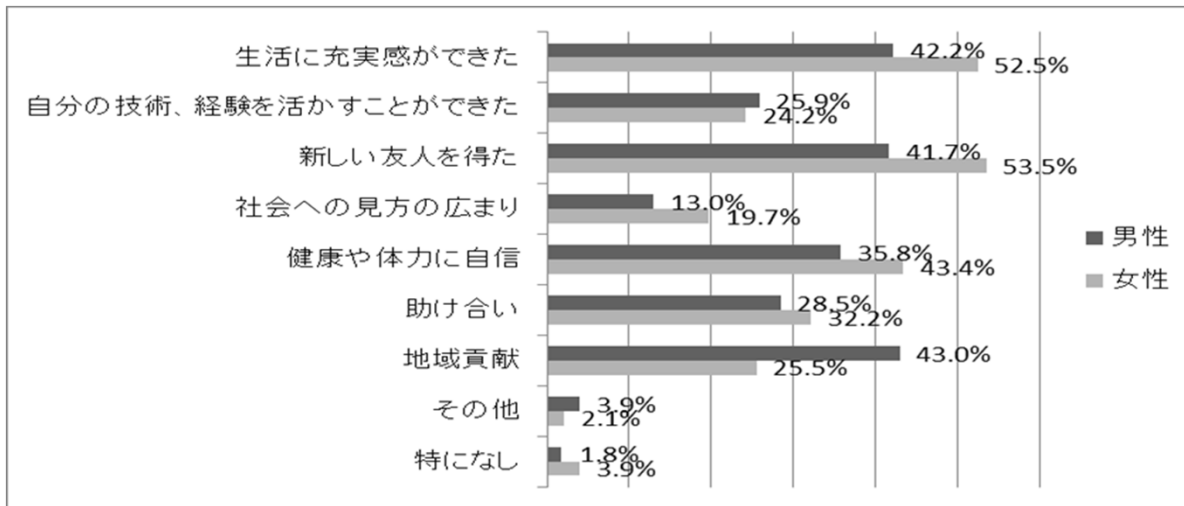


参加したきっかけは「友人の勧め・紹介」(36.8%)、次いで「町内会、民生委員の勧め・紹介」が多い。

活動への参加頻度



参加してよかったこと（複数回答）

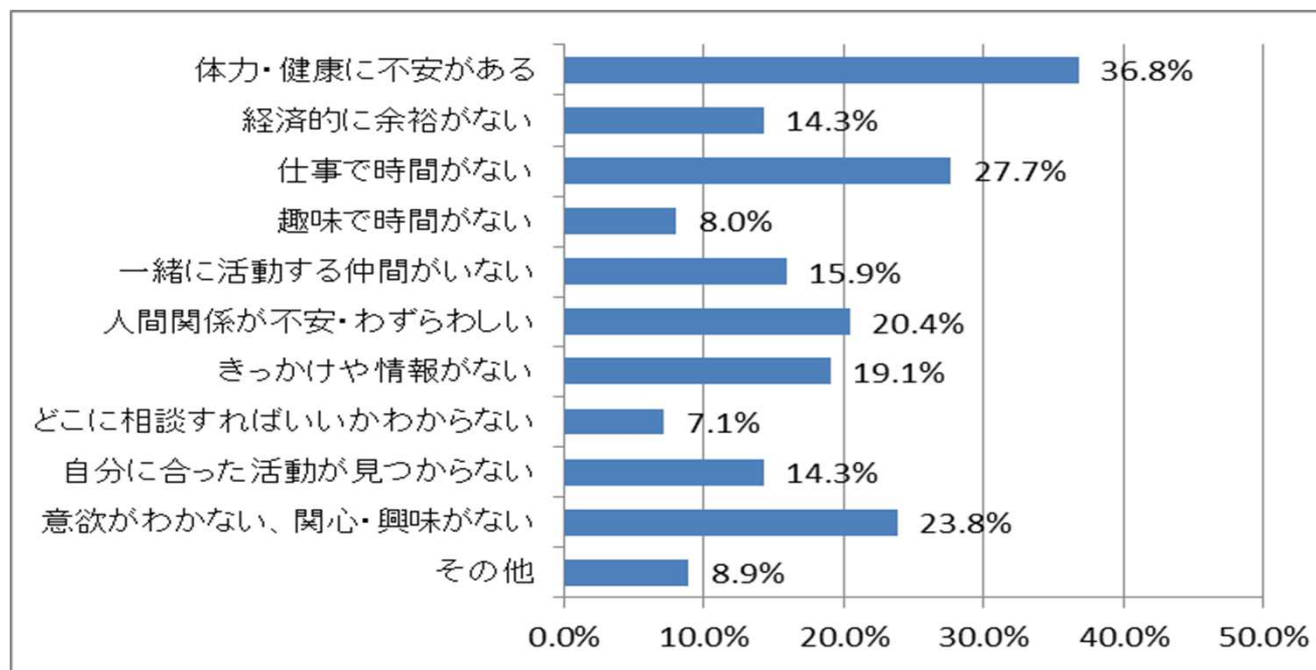


参加者の約半数が生活において充実感を感じている。

男性は特に地域貢献(43.0%)に充実感を感じている。

女性は「新しい友人を得た」(53.5%)がもっとも多い。

社会参加活動を行っていない理由(複数回答)



「体力・健康に不安がある」(36.8%)、次いで「仕事で時間がない」(27.7%)、「意欲がわからない、関心・興味がない」(23.8%)の順に回答が多い。

65歳以上：主な行動種類別の平均時間数（週全体）

	仕事	家事	学習・自己啓発 ・訓練	ボランティア・社会 参加活動	趣味・娯楽	スポーツ	交際・ 付き合い
滋賀県	5.9時間	3.2時間	1.7時間	2.8時間	2.7時間	1.7時間	1.9時間
	11.0%	5.9%	3.1%	5.2%	5.0%	3.2%	3.5%
全国	6.0時間	3.2時間	1.9時間	2.6時間	2.8時間	1.7時間	2.3時間

出典：平成28年社会生活基本調査結果（総務省統計局）

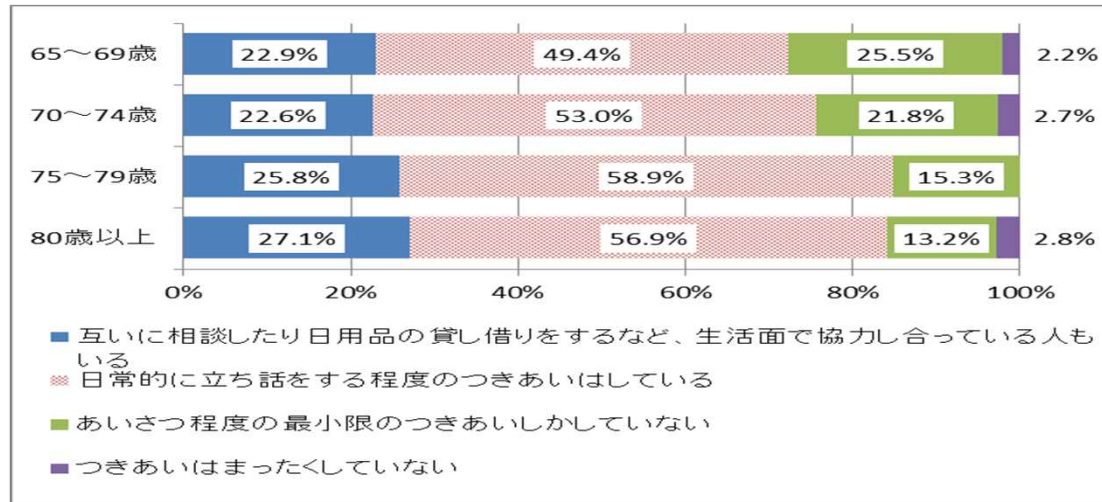
調査対象：全国の10歳以上の男女（このうち65歳以上の回答を抜粋）

滋賀県では、1週間のうち（睡眠を除いて）「仕事」の時間が最も長く、次いで「家事」、
「ボランティア・社会参加活動」となっている。

滋賀県は「ボランティア・社会参加活動」の時間が、全国平均よりも長い。

社会との関係性

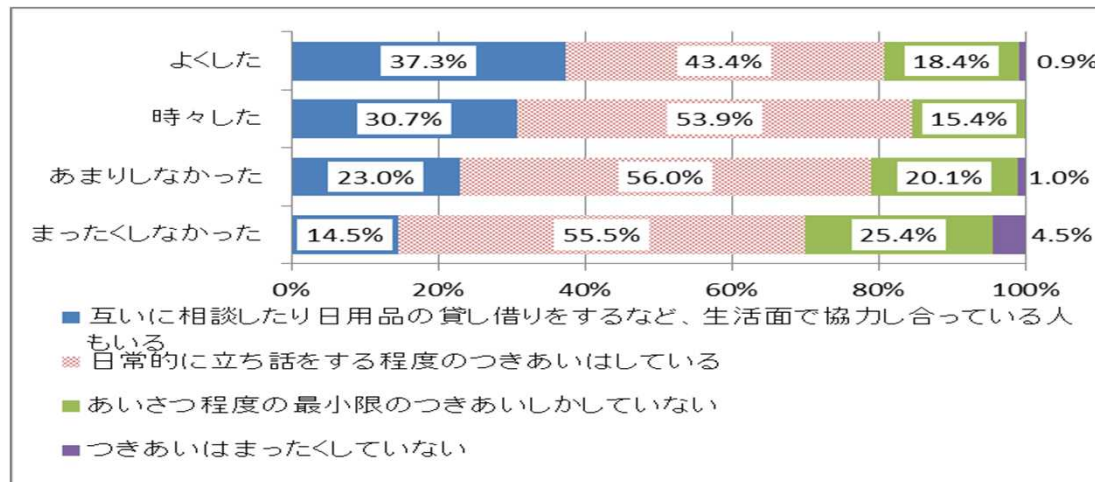
近所の人とのつきあいの程度



県内(草津市・米原市)の65歳以上では、どの年代も「日常的に立場話をする程度のつきあいはしている」がもっとも多い。

「あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない」は年代が上がるにつれて低くなっている。

近所の人とのつきあいの程度 (学習の程度別)



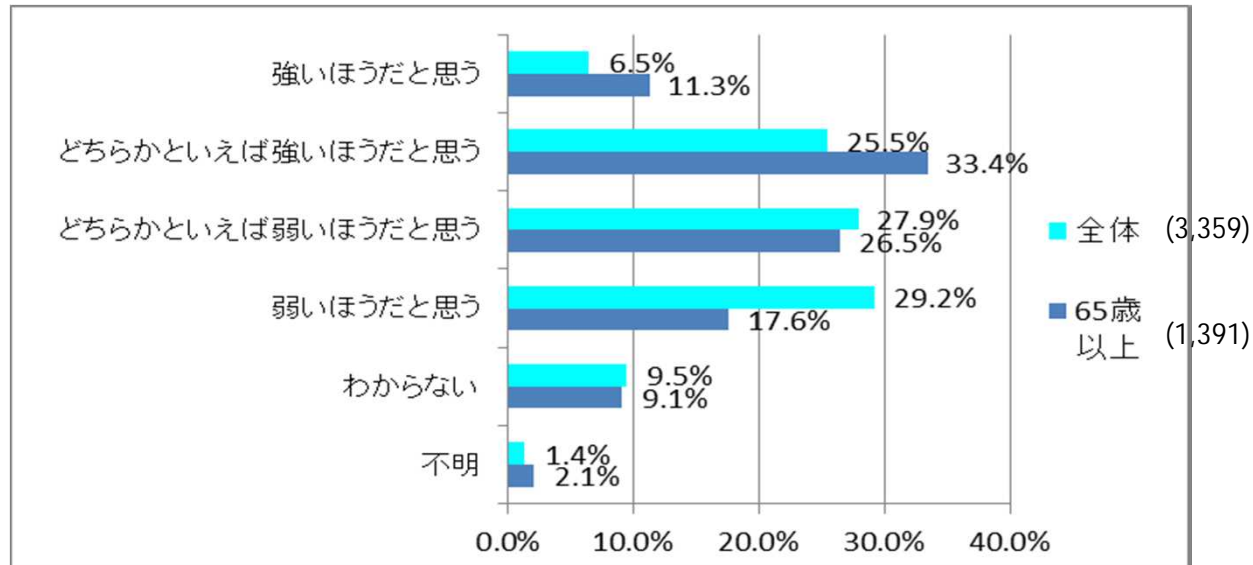
「互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる」の回答率は、学習の程度が高くなるにつれて、高くなる。

自分と地域の人たちとのつながりの強さ

出典：滋賀の医療福祉に関する県民意識調査(H28)

医療福祉推進課調査

()内の数字は実数



県内の20歳以上を対象にした調査では、「強いほうだと思う」・「どちらかといえば強いほうだと思う」の合計よりも、「どちらかといえば弱いほうだと思う」・「弱いほうだと思う」の合計の方が多い。

65歳以上の場合は、「強いほうだと思う」「どちらかといえば強いほうだと思う」の合計と、「どちらかといえば弱いほうだと思う」「弱いほうだと思う」の合計が、ほぼ同じ割合(約44%)になっている。

地域のボランティア団体・老人クラブ数

ボランティア団体等の把握数（平成29年度）

	個人ボランティア 把握数	ボランティア 団体把握数	ボランティア 団体の会員 把握数合計	市町別人口総数 ()に対する ボランティア団体の 会員把握数の割合		個人ボランティア 把握数	ボランティア 団体把握数	ボランティア 団体の会員 把握数合計	市町別人口総数 ()に対する ボランティア団体の 会員把握数の割合
大津市		145団体	3,781人	1.1%	高島市	25人	57団体	1,671人	3.4%
彦根市	9人	38団体	983人	0.9%	東近江市	49人	386団体	5,075人	4.5%
長浜市	33人	244団体	21,626人	18.5%	米原市	49人	84団体	1,700人	4.4%
近江八幡市	135人	110団体		-	日野町		14団体	132人	0.6%
草津市	12人	331団体	5,012人	3.6%	竜王町	4人	29団体	1,251人	10.2%
守山市	40人	73団体	2,622人	3.2%	愛荘町	443人	41団体	457人	2.2%
栗東市	33人	137団体	1,751人	2.6%	豊郷町		5団体	49人	0.7%
甲賀市	590人	234団体	6,895人	7.7%	甲良町	8人	9団体	459人	6.7%
野洲市	19人	62団体	1,360人	2.7%	多賀町		2団体	196人	2.7%
湖南市	17人	91団体	1,031人	1.9%	合計	1,466人	2,092団体	56,051人	

個人ボランティア・ボランティア団体・ボランティア団体の会員数は、滋賀県社会福祉協議会が把握している数（「滋賀の社協活動と地域福祉の推進2017」）
H29.4.1現在の人口（滋賀県統計課：毎月人口推計調査より）

老人クラブ数・会員数（平成30年度末，市町別）（ 県補助金を交付しているクラブに限る。県補助金交付実績より）
 （ 60歳以上人口は、平成31年4月1日現在の推計（滋賀県統計課：毎月人口推計調査より））

	会員数30人以上の老人クラブ		会員数30人未満の老人クラブ		会員数合計	60歳以上人口	60歳以上人口に対する会員数の割合		会員数30人以上の老人クラブ		会員数30人未満の老人クラブ		会員数合計	60歳以上人口	60歳以上人口に対する会員数の割合
	クラブ数	会員数	クラブ数	会員数					クラブ数	会員数	クラブ数	会員数			
大津市	145	7,704	13	263	7,967	109,287	7.3%	高島市	19	894	39	813	1,707	20,080	8.5%
彦根市	76	5,393	16	356	5,749	34,507	16.7%	東近江市	106	7,166	19	380	7,546	36,728	20.5%
長浜市	177	14,902	13	251	15,153	39,124	38.7%	米原市	29	2,292	0	0	2,292	13,497	17.0%
近江八幡市	48	3,571	13	301	3,872	27,017	14.3%	日野町	58	3,411	6	119	3,530	7,694	45.9%
草津市	53	2,848	7	153	3,001	36,093	8.3%	竜王町	25	1,933	6	120	2,053	4,080	50.3%
守山市	18	1,443	4	100	1,543	22,007	7.0%	愛荘町	28	2,099	3	69	2,168	5,779	37.5%
栗東市	23	1,753	2	50	1,803	15,795	11.4%	豊郷町	10	559	5	101	660	2,533	26.1%
甲賀市	100	8,656	5	103	8,759	30,482	28.7%	甲良町	22	1,371	0	0	1,371	2,595	52.8%
野洲市	86	4,788	1	14	4,802	15,593	30.8%	多賀町	18	1,292	10	220	1,512	2,969	50.9%
湖南市	17	1,471	5	114	1,585	16,456	9.6%	合計	1,058	73,546	187	3,527	77,073	442,316	17.4%